

舟山

発行者
幸田町立南部中学校
鈴木 一也
第123号

充実した二学期

十一月も半ばを過ぎ、二学期も終盤を迎えています。生徒たちは、期末テストを終え、自身の取り組みを振り返り、次の目標を決めていこうとしています。

さて、二学期は、コロナ以前のように多くの行事を行うことができませんでした。特に、全校生徒による「南中ソーラン」の披露・授業参観などでは、保護者の皆様方には、多数のご参加ありがとうございました。また、十一月十四日・十五日に行われた防犯パトロールでも、地域の皆様方にご協力いただきありがとうございました。



防犯パトロール

魔法のストレッチ

三年 長谷 葵

私は、小学校のときからすごく姿勢が悪く、家族から注意されることが多くありました。そのため、コンプレックスの一つになっていました。少しでも姿勢をよくしようとお風呂上りに自己流でストレッチをやったり、意識的に姿勢をよくしてみたり、いろいろ試してみました。姿勢がよくなることはありませんでした。

そんな私ですが、学校保健委員会で講師の方に教えてもらったストレッチを行うと、姿勢よく座っているのがとても楽になりました。また、友達と会話をしながら楽しくストレッチをやることができました。

どんなことも継続することが大切だと思います。これからも続けていき、姿勢のよいかっこうのよい人をめざしていきたいです。



姿勢をよくするためのストレッチ

茶道を通して学んだこと

二年 金子 由愛

交流会の茶道を通して、普段の生活では知ることのできなかった日本文化について知ることができました。茶道は、お茶の飲み方やお菓子の配り方、食べ方などの手順が細かく決まっています。初めは難しかったけれど、回数を重ねてだんだんと覚えて、すらすらできるようになりました。

南中祭で、初めてお客さんにお茶を出したりお菓子を運んだりしたことは、とても楽しかったです。

茶道の先生は講座の終わりにいつも、茶道の成り立ちや、大切にしていることなどを話してくださいました。着物を着たり、部屋に花を置いたりするなど、その場の雰囲気をととても大切にしていることや、日本人の繊細さを感じることができました。



交流会でお茶をたてる生徒

南中の伝統の仲間入り

一年 原田 頼杜

初めて三年生のソーランを見たとき、声、構え、足音、動きがそろってとても迫力があり、圧倒されたことを覚えています。

十一月の授業参観でソーランを踊ると聞いたとき、先輩たちのようにできるか不安でした。練習が始まると、構えや波の部分で腰をしっかり落とすことが大変でした。でも、先輩方が私たちのために教えてくれたり、友達と教え合ったりして先輩方に少しでも追いつけるように、みんなで努力しました。

そして、本番の日。私の立ち位置は外側でお客さんから見えない位置で緊張しましたが、前にいる先輩方に負けないように全力で踊ることができました。全校で踊ると声や動きが一体となるのを感じました。一生懸命練習してよかったと思います。来年はもっと練習して、きれいな動きを目指したいです。



全校での南中ソーラン

自分の身をどう守るか

二年 若松 日和



不審者から体育館への避難

先日、不審者対応訓練が行われました。この避難訓練で気づいたことがあります。それは、誘拐や殺人事件などは、ドラマや映画の世界にしかないと思いついていたことです。講師の方のお話によると、幸田町では今年度、不審者と遭遇する件数が二倍以上増えているとのこと。私たちの身の回りにも、危険が潜んでいるのではないかと考えるととても怖くなりました。

この機会を通して、私は、登下校時や外出する際に、一人になる時間を減らしたり、危険そうな時間帯・場所に外出しないようにしたり、自分の身を守る行動を考えていきたいと思いました。こういう小さなことの積み重ねが自分の命を守ると思っているので、自身の行動を見つめ直していきます。

全力で取り組んだ二日

一年 尾崎 颯



考えを出し合う生徒

先日、授業参観がありました。道徳の授業では、友達の手紙を拾って自分のものにしてしまったことを言い出せなかった主人公の話を読み、心の弱さを乗り越えることについて話し合いました。私は一番後ろの席で保護者の方に見られてどきどきしましたが、「自分のためなどところを変えなければいけない」と発言しました。これからの学校生活で自分の弱さとも向き合っていきたいです。

全校による南中ソーランの披露では、今まで練習してきた成果を出すことができました。家に帰って母親から「迫力があって、かつこうがよかったよ」と言ってもらえてうれしかったです。

今回の授業参観では、授業や全校ソーランを見てもらいました。次に参観してもらったときも自分から積極的に発言していきたいです。

最後の期末テスト

三年 牧原 瑞季



期末テストに挑む生徒

今までの人生で初めての大きな決断になる受験。私には目ざしている高校があります。私は小さい頃から将来、保育士になりたいという夢があり、勉強をがんばりたいと思っています。

そのため、この期末テストは私にとって、とても大事でした。中学校生活最後の定期テストということもあり、長時間やるだけでなく、勉強の質にもいつも以上にこだわり、本番では勉強の成果を出し切ることができました。

受験は団体戦と言われます。期末テストは終わってしまいましたが、まだまだ私たち三年生の受験勉強は続きます。学年や学級で受験に向けて雰囲気をつくり、最後まで「結進」学年全員でやりぬきたいです。

自分を見つめて

二年 丸山 慶伸



意見交換をする生徒

「自分によいところはありますか」道徳の授業の最初にこう質問されて、私は少し戸惑いました。今までほとんど考えたことがなかったからです。人のよいところは自然に見つけることができました。自分のよさはなかなか見つけれませんでした。しかし、学級の仲間から自分のよいところを教えてもらう活動を通して、本当にうれしい気持ちになりました。これからは自分のことを見つめる時間も大切にしようと思いました。

この授業で出てきた主人公のように、自分を失いかけていても何かが見つかるかわるときがくると思います。そんなきっかけを与えられる存在に私はなりたいと思います。そのためには、まず、友達とコミュニケーションをとることを大切に、学校生活をより楽しく過ごしていこうと思います。